

広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集中!

「まちづくり・お宝バンク」提案一覧

コロナ禍でもできることはないか、新たな試みが始まっています!

取組例 01 地域の交流拠点をつくり、 認知症への理解を広げたい!

認知症予防

農業

福祉

取組中

お宝 No.366 いわくら農園倶楽部プロジェクト

栽培

定例の活動とともに、朝夕二回、包括支援センター職員や地元の方で草取りや水やりの管理を行っています。

お気軽にご参加ください!!

▶075-723-0800

□定例の活動日:

毎週土曜日

午前 9:30 に集合、

お昼前まで農作業。

□活動日以外:

朝・夕の水やり



▼目指すのは、幅広い人々の交流と、ゆるやかなネットワーク

農地はあるけれど農業経験はない中、心強いのは地域の住民の方。自分の知識を積極的に教えてくれ、しかも皆さん生き生きする様子。その他体を動かしたい人、自然に触れたい人、お知り合いに誘われてきた人…。様々な関わり方の間口を広げることで、多様に広く支え合う環境が実現しています。

収穫

「立派に育ったね」「実は小さいものも柔らかくておいしい」など話しながら楽しく収穫。

提供



▲高齢者施設やこども食堂に提供

準備

「何個なら 100 円で買ってくれるかな」「市価はどれくらい?」など調べたりしながら個数を決めていきます。

販売



▲児童館の一角で販売

▼提供・販売から得られる発見

「ししうなんて、若いママは買わないんじゃない?」と思っていても、児童館では「ママ、これとじゃこで炒めて作って!!私それ好き!!」と大好評。頼んでいないのに看板(↓下記)を自ら作ってくれる子も。現場では、子どもの「今」も感じられます。また運営側は「今度はどんな野菜を作る?」と、バジルや空心菜、ブリッキーマなど珍しい野菜の栽培にも挑戦中。地域での双方向の交流が生まれています。



なんと児童館に通う子が、野菜を販売する姿を見て「おやさいやさん」と描いた人参型の看板(!)をつくってくれました。

▼今回の試みのポイント: 支援の枠を超えた循環を生む形をつくる

この取組では、農作業という日常的な「交流」とともに、それを収穫し商品とする過程での「試行錯誤」、そして提供や販売という、顔の見える誰かの生活の一部に関わる「達成感」など、さまざまな感情が生まれる場面があり、認知症の方だけではなく、ご家族や関係する人それぞれにとって刺激のある体験となっています。また、**売上を運営費へと循環**させるなど、受動的になりがちな「支援」という枠を超えた形での、持続的な活動を目指しています。

コロナ禍の課題に向き合う活動が生まれています！

取組例

02

コロナ禍で実は危機にある、人々や文化を守りたい！

子育て環境

音楽・文化

取組中

コロナ禍で身体的な危険、経済的なダメージがあるだけでなく、身近な生活の中で見過ごされている課題、危機に直面する文化があります。「そうした課題に対して、何かできないか？」という視点で、オンラインやクラウドファンディングを使った、新たなアクションが生まれています。

お宝 No.367 双方向のオンライン保育(未就学児対象)

▼オンラインを使いながら、奥行きのある教育を

聖母インターナショナルプリスクールからの提案は、「コロナ禍でストレスを抱える子どもたちのサポートができれば」というオンライン保育。「オンライン教育」と聞くと、一見平面的なものを想像しますが、アクティブなダンス授業や、双方で同じ道具を使って各家庭のおうち空間を最大限活用したゲーム形式の英語授業など、いろいろ工夫されています。

海外の明るいノリとダンスで楽しくコミュニケーション



スクールと同じカードを家の中で宝探しをするゲーム形式の授業

▼恥ずかしさを超えたコミュニケーションを重視

大きな特徴は「海外の先生方の底抜けの明るさ」で、子どもたちも自由に感情を表現できるようになるそうです。ストレス発散だけでなく、コミュニケーション力が自然と育つことも大切にされています。

注目

▼子どもだけでなく、保護者のケアにも

「昨今のコロナ禍でつらい状況にあるのは子どもだけではない」といいます。まだ子どもが小さく、幼稚園など特定の施設に通わせていない保護者は、公園など交流の場に行けない今、子育ての悩みやコロナ禍での対応の仕方に関する相談相手も限られているのではないかと。この取組は、そんな見過ごされがちな保護者のケアにもつなげたいという思いも込められています。

親も子どもと一緒にダンスやゲーム形式のオンライン授業に参加して、親子でストレス発散したり、別途先生に簡単な相談もできそうです。

無償提供

SIPオンラインプリスクール
オンラインで実現する
双方向保育「EARTH」
▶▶▶登録受付開始！▶▶▶

お宝 No.361 KEEP MUSIC #音楽をつなごうクラウドファンディング・プロジェクト



▼音楽の新しい未来を守り、つくる

コロナ禍でライブハウス、音楽スタジオ等、ミュージシャンが生演奏をする場所が消滅の危機に。未来に続く音楽文化を守るためだけでなく、これをきっかけにこれら音楽の場も新しく変わるため、クラウドファンディングを実施しました。

キャンプファイヤーで5/11~6/26の約1か月半にクラウドファンディングを実施。502人から目標額を超える6,375,000円の支援達成！



▼今回の試みに関連した取組：「特定テーマ「新型コロナによる危機や課題に対応する取組提案」

『まちづくり・お宝バンク』では、市民の方が自ら取り組む「新型コロナによる危機や課題に対応する取組提案」を募集しています！新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、市民生活や経済活動に甚大な影響が生じている中、新たな社会を構築していくための積極的なアイデアや具体的な対応の実践により、この厳しい社会情勢を乗り越えていく一助としていきたいと考えています。提案募集期間は、令和3年3月31日(延長の可否は別途検討)です。

ご自身の取組でアイデアのある方はぜひご提案ください！

その他、社会的に関心の高いテーマの提案も増えています！

例えば「対話」「関係づくり」「資金調達」など、近年社会的に関心の高いテーマの提案も増えています。

対話 家族関係

「家族のつながりを大切にしたい！」

お宝 No.365
家族会議レストラン

若者 心理教育

「若者や家族のケアに貢献したい！」

お宝 No.358
塩澤順哉

資金調達 活動応援

「CF (クラウドファンディング) で社会活動を応援したい！」

お宝 No.368
オフィス KIBOU

団体例

□お宝バンクの取組提案に興味をもたれた地域の方、事業者の方、関連部署の方

□行政や事業者の方とのつながりを模索中の市民の方、連携の可能性を一緒に考えます。お気軽にご連絡下さい！

